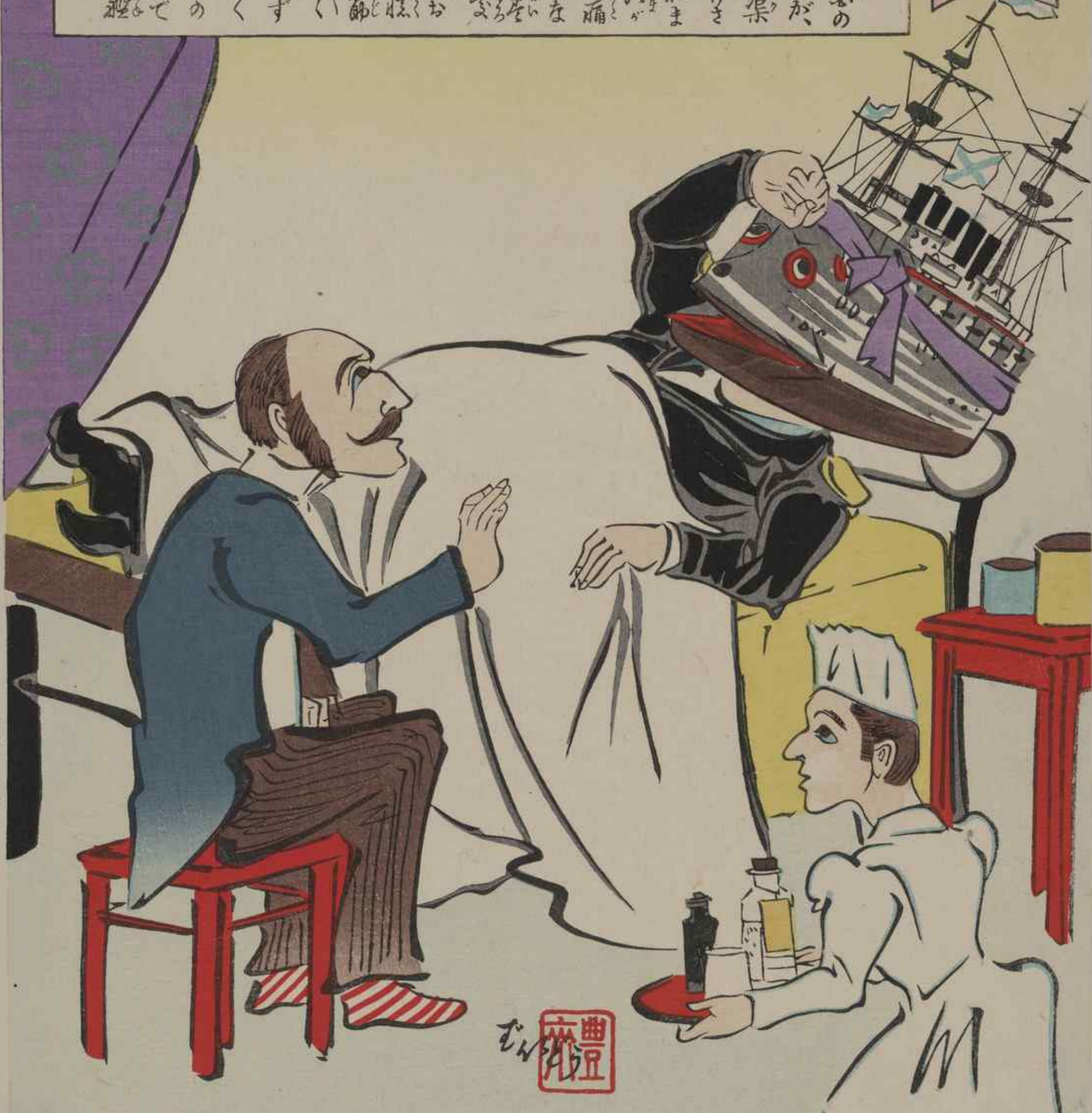


# 露國 征伐 戰勝 笑話

○露艦の大病 骨皮道人  
 旅順口で日本の水雷艇は勇猛な戦いをした。露艦は、ヤットの力で一二艦をたけの助かつたが、其後の大頭痛の大病と云ふので、早速、船渠に死が診察よと出掛けた。医言ひださし、効けさうかね。軍艦「イヤモウ」今なほ豪く巻附られましたので、何様なは病をしても逆も病が上りません。夫は又、身体中の骨と云ふく三りく痛んで、其中でも、逃腰は打れ、膝は脱ぐ、大きくなるし、お負は降り、膝を洗したり、舌を吐いたりしたもので、却とも、是も出るいふよか、ガラの毒も出ない様もありました。医成程お前の平生から一寸上辺の強さうでも、其は、病で弱い候だし、其麻面の皮が厚くて、病氣節を出すのが持おだから、夫はもう是から、強弱を用心するより、外は仕方がないが、先づ、我教す大瓶の穴の膏を、茶張でもして、胃は合せて、おから、軍艦「ソコ」銭生は伺ひますが、全体、私のやうな洗面でも、此指の病氣があるもので、せうか、医、夫はあるとも、銭圖が多けりや、程が病登るものさ。



豊成 印

明治廿七年三月五日印刷 今年三月十日發行 画作印刷兼發行 東京市浅草區南元町十五番地 牧金之助